



AJU 愛実

編集：特定非営利活動法人愛実の会

- ・愛実の会事務所
- ・居宅介護事業所あみ
- ・生活介護事業所障がい者デイセンター愛実
(大地の家／愛実友だちの家／紙風船)

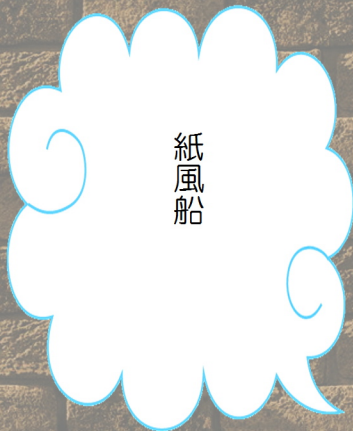
第32号 会報

定価：一部100円

「自己肯定感」／島しづ子・・・・・・・・・・・・・・・・・・P1
事務より・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P2
大地の家のページ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P3～4
紙風船のページ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P5～6
「育ち合う子どもたちの絆」／南 寿樹・・・・・・・・P7
寄付者名簿・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P8



大地の家



紙風船



自己肯定感

理事長 島 しづ子

会員、賛助者の皆様 今年もお支えをありがとうございました。今年も国の体制が大きく変わるような流れが強くなりました。莫大な税金を軍事費に使うような時代になると誰でも不安が増します。平和であってこそその福祉です。

重度の障がい者の地域生活を実現するという流れは、多くの先達が開いてくれました。25年くらい前、友人の娘さんが一人暮らしをするというので、興味深く見守っていました。彼女は自力では身の回りのことが思うようにならない方です。彼女は市江由紀子さん。その後、自立の家での生活や仕事を経て、コンビニハウス立ち上げに尽力し、今はNPO法人舞夢の理事長として地域生活をしながら、事業と運動を続けておられます。10月17日の愛実の会の定例会でご講演を頂きました。

講演の中で、重度の障がいを持つ自分の人生の意味を探し、苦しまれたとお話しされました。が、答えが無い場合はたくさんある棚のひとつに一時上げておく、ということが印象的でした。また、ご自分のそばに来られる若者の何人かが自己肯定感に乏しく、苦しんでいることに出会い、そのような思いの方々の出会いの為に舞夢の事務所に喫茶コーナーを設け、地域の方々にオープンにしておられることをご紹介します。

愛実の会のメンバーに昔から接してきて思うのは、メンバーたちは比較的恵まれた環境にあるという事です。それは重度の障がいのために家族の力を必要とし、愛情深く見守られてきました。愛されるということは、自己存在をよきものとして感じることができます。由紀子さんもお母さんの愛情と由紀子さんの姿勢に対する賞賛を受けて生活してきました。そして、由紀子さんはお母さんに頼るだけではなく、他者によってサポートされて生きる道を選択してきました。ここに至るまで親子共に不安と孤独をかみしめて来られたと想像できます。コンビニハウスを立ち上げるときに、由紀子さんが「自分はこうして話すことができるので、言葉でコミュニケーションできない仲間の思いを実現したい」という意味のことをお話しされました。自分だけが自立するのではなく、同級生や後輩の思いを担いたいと、20代初めの由紀子さんが言われたことを印象深く思い出します。

自分の人生の意味は？私たちの多くはいい意味でその答えを棚にあげて歩んでいます。由紀子さんの歩みの中に、自分だけの幸せや自立を求めるだけではない、他者と共に幸せになっていきたいとの思いを見て、ここに答えがあるのではないかと思います。

由紀子さんの発刊されたご本を手にとって読んでいただけたら、皆様も勇気を頂けることでしょう。取次ぎも致します。

『あなたはそのまま大切な存在』 『弱さが輝く日々』
『弱さを与えられて』 市江由紀子



事務所より

今年度中にカーポートの新規設置を行います

- 雨天時にもスムーズな乗降車が可能になるよう屋根の設置及び舗装が崩れている駐車場の整備 -

私どもの施設では、車いすを利用しているメンバー（＝利用者）が9割以上に及びますが、降雨時にはその移動が困難を極めています。

施設前駐車場には、車両一台分のスペースにのみカーポートが設置してあります。現状では、降雨時の施設到着時と帰宅時にはその屋根の下で乗降車するしかありません。このため降雨時にはその乗降にかなり時間がかかるとともに、車両の待機渋滞が発生しています。

近隣住民の皆さまにご迷惑をかけることの無いよう、駐車場全面にカーポート（＝屋根）の設置をし、スムーズな送迎および渋滞の解消に取り組みたいと考えております。

カーポートの設置により、降雨時にもスムーズな乗降車が可能となり、屋根のある1台分のスペースを巡って待機する時間がなくなります。

このことにより、降雨時にメンバーが施設を出発するまでに要する時間も15分から5分ほど短縮されます。

また、周辺道路での車両待機を解消することができます。これまで雨天の視界が悪い状況下に、路上で待機車両が発生していたこともあり、地域にご迷惑をおかけしていましたが、今後はご迷惑をおかけすることも無くなります。

現在の港区木場町（障がい者デイセンター愛実）への移転が実施されたのが今から5年ほど前の2010年春の事でした。

その際には皆さまに大きなご協力を頂いた事が今でも記憶に新しいところであります。

それに加えて今回もご協力をお願いさせていただくこととなりますが、ご理解ご協力を賜りますようお願いいたします。

（併せましてP8もご覧下さい）

ACCJ/NIS Walkathon より寄附を頂戴しました

5月に開催されましたWalkathon（主催：ACCJおよび名古屋国際学園）の寄付金として500,000円を頂戴しました。

上記のカーポート設置費用の一部として大切にに使わせていただきたいと思いますと考えております。

授与式は名古屋国際学園で行われ、学生の皆さんによるあたたかい式となりました。



←寄付金授与式の様子
@名古屋国際学園





大地の家のページ

(P 3~4)

秋も一段と深まり、ひだまりの恋しい季節となりました。皆さまもお変わりなくお過ごしでしょうか。

大地の家のメンバー&アシスタントは大きく体調を崩す事もなく、元気に毎日を過ごしています。そして年末に向けて、遠足やクリスマス会など楽しい行事が控えています。

さて今回は、少々時期外れではありますが、7月に行われた海水浴、10月の名古屋フィルハーモニーコンサート、大地秋のバーベキューの様子をお伝えします♪

海水浴

7月27日(月)、海水浴に行ってきました。昨年度までは西尾のワイキキビーチでしたが、今回は知多半島南知多にある小野浦海水浴場に行きました!

直前まで雨予報で心配されていた天気も、申し分のない快晴で絶好の海水浴日和♪海水浴場に到着すると早速水着に着替えて海に入りました。海水温も日射しのお陰で暖かく、とても入りやすかったです。ただ、遠浅の海水浴場だったので、海岸から離れた泳ぎやすい場所まで移動が大変……。皆さん、おつかれさまでした。

午前中ということもあってか、周りに他のお客さんの姿も少なく、まるでプライベートビーチ!大地の家の独占状態でした♪

一年振りの海にメンバーも楽しそうに泳いでいました。普段は水の苦手なメンバーもいますが、伸ばせば地面に足の着くあまり深くない海だったので、安心した様子でリラックスして海水浴を楽しまれました。浮き輪で好きな場所へ泳ぐメンバーがいれば、日光浴をしたり、他のメンバーやアシスタントと水の掛け合いを始めるメンバーなど、時間いっぱい思い思いに過ごしました。

思いっきり泳いだ後は、南知多かんぼの宿へお風呂と休憩、昼食に立ち寄りしました。運動した後なので、いつも以上においしくご飯を頂きます。しっかり一人前を食べきるメンバーが続出!心とお腹をいっぱいにして大満足な海水浴でした。

名フィル

10月27日(火)、名古屋国際会議場センチュリーホールで、名古屋フィルハーモニー交響楽団による「夢いっぱいの特等席」福祉コンサートを聴きに行きました。



名古屋フィルハーモニー交響楽団とは、愛知県名古屋市を中心に活動されているオーケストラです。〈名フィル〉の愛称で呼ばれています。

この福祉コンサートは参加型で、普通のオーケストラコンサートとは大きく違います。ただ聴くだけではなく、流れてくる演奏に合わせて歌ったり、声を出すのも自由で、会場にいる全ての人々が主役のコンセプトは、音楽好きのメンバー達にはぴったり♪

モーツァルトやチャイコフスキーなどの楽曲から、スペイン民謡「幸せなら手をたたこう」やとなりのトトロより「さんぽ」といった馴染みの深い曲も演奏されました。メンバー達は最前列でフィルハーモニーの演奏を聴きました。生のオーケストラは大迫力で、最初は少し圧倒されてしまうほどです。

大地の家のメンバーは音楽の大好きな人が多く、演奏が始まる前は薄暗い会場に不安そうな顔をしていた方も、音が聞こえてくると途端に笑顔になり、楽しそうに一緒に歌ったり、リズムを取ったりしていました。最後は来場者も含めて全体で大合唱！手拍子や、割れんばかりの歌声で会場は大盛り上がりでした。



秋のバーベキュー

10月30(金)、戸田川公園でバーベキューをしました。秋風が心地よく、穏やかな日射しにも恵まれ、バーベキューにはぴったりな日です。

今回は紙風船のみなさんをお誘いしました♪メンバー・アシスタント総勢31名の大所帯！部署の違うメンバー達は普段関わることが少なく、この日が来るのをとても楽しみに待っていました。

いつも大地のバーベキューは沢山のお肉を焼きます！もちろん今回もペロリと完食♪

炭で焼く本格的なお肉はとてもおいしく、空の下で食べることも加わって、いつもより沢山食べられます。

しかも今回はチーズたっぷりのグラタンも作りました。大きな角皿に山盛りのグラタンを炭火でじっくり炙って、チーズが溶けてきたら完成！出来上がると同時に、すぐメンバーとアシスタント達の口の中に消えていきました。

お腹いっぱい食べた後は、戸田川公園の一室を借りてまったく休憩して帰りました。楽しい1日で大満足でした♪



日々の活動の様子など随時更新中です♪
大地の家のブログ <http://ameblo.jp/daichi-no-ie/>

紙風船のページ

(P5~6)

気づけば季節は秋。今年もまた暑さが記録をぬりかえる日々が続きました。そんな暑さも無事に乗り切り、紙風船のメンバーは元気に日々を過ごしています。

今回は通称”女子会”の様子、人形劇をより良くするためにメンバー・アシスタントが取り組んでいる表現活動、そしていつもお世話になっている南先生が「博報賞」を受賞されたことについて報告します。

☆紙風船女子会@茶屋イオン☆

10月13日、レクリエーションの第3弾として港区茶屋のイオンモールに出かけました。今回は女の子が多いグループでの外出♪
ランチタイムには”ジョシバナ”が盛り上がりました!! その後のフリータイムでは思い思いの買い物をしたり、オータムジャンボで運試するメンバーも。。。

いつもはイエローシート活動の後の限られたフリータイムでしかイオン内を廻れませんが、今回はゆっくりゆったりとした時間を過ごすことができましたよ。



ランチタイム♪



ハロウィーンムード♪

☆表現活動☆

紙風船では、人形劇に活かせるような「表現活動」を取り入れています。

”読み聞かせ” ”川柳作り” ”役作り”などがあります。絵本を使って抑揚を意識しながらことばのリズムの面白さを表現したり、季節ごとのお題に沿った川柳作りをしたり、普段の自分とは違った人形を操ってセリフを言ってみることも。。。

いつも新鮮な発見があり、メンバーもアシスタントも積極的に取り組んでいます。また、自分の役を他の人が演じることに刺激を受けるメンバーも多いようです。

表現活動は、人形劇のためだけでなく自己表現やお互いの新たな姿を再発見するのにとっても大切な活動です。これからもメンバー・アシスタントで意見を出し合い続けていこうと思います。



役作り



絵本の朗読

南先生「博報賞」受賞 おめでとうございます



紙風船は来年度で創立20周年を迎えます。その発足に大きな力を注いで下さった、現大府特別支援学校の南寿樹先生がこの度「公益財団法人博報児童教育振興会」より贈られる、「博報賞」の特別支援教育部門賞に輝きました! 「博報賞」とは子どもたちの豊かな人間性の育成に長期間に渡って貢献した方々に贈られる賞です。

紙風船のメンバーは、人形劇活動を通して人々との心の交流を深め、また人々に喜んでもらえることでさらに自信を持ち、生き生きと輝いた活動を続けていく事ができています。

南先生は「夢は見るものではなく、つくるものだ」といつもメンバーを励まし続けて下さっています。先生、本当におめでとうございます! これからもよろしくお願ひいたします!!



南先生との
ひととき



紙風船ホームページ、ブログ、フェイスブック、ツイッターも
随時更新中です!

ぜひご覧くださいm(_)_m

【公演だよ!】

- 第196回 6月10日(水)からだけ保育園「ポンタとたっくん」
- 第197回 7月14日(火)大府の郷「ポーちゃん」ボラ公演
- 第198回 7月25日(土)愛実の会地域ふれあいまつり「かめさんのありがとう」
- 第199回 8月22日(土)北なごやパペットフェスタ 「ポーちゃん」
- 第200回 9月13日(日)新瑞福社会50周年同窓会 茶源ホール「ぼくたちにできること」
- 第201回 9月18日(金)ひまわり横丁4周年イベント 新瑞イオン「ポンタとたっくん」
- 第202回 9月30日(水)名古屋柳城短期大学「ポンタとたっくん」
- 第203回 10月17日(土)日本ルーテル復活教会「ぼくたちにできること」

今年もあと数カ月になりますが、紙風船は年末までにたくさんの公演予定もあり練習もたくさんして頑張っています。

9月には3公演と作業所えがおのお祭りにてミニ「ポーちゃん」をやるなど忙しくも充実した人形劇活動をしてきています。

そして、公演回数も200回を超えました。

たくさんの方の協力や観て下さるお客さんの笑顔に力にしてここまでこれたことに感謝したいです。

ルーテル復活教会にて

200回公演!! 新瑞福社会



最近の公演では、名古屋柳城短期大学で、たくさんの学生の皆さんにみてもらい、アンケートも書いていただきました。また、以前給食でお世話になったルーテル復活教会では公演を見たお子さんから「こんなおもしろいもの見たの初めて!」と感想をもらいました。観て下さったお客さんからのいろんな感想をもらえること、とても嬉しいです。

公演 予定

- 12月2日(水)ハートフル講演会 昭和区役所講堂「ポンタとたっくん」
 - 12月5日(土)名古屋市公立保育園父母の会 イープル名古屋「ポーちゃん」
 - 12月12日(土)八事聖霊幼稚園 主催やっちゃんち「ポーちゃん」
 - 12月15日(火)知立東小学校「ポーちゃん」
- 2016年
2月4日(木)昭和区デイサービスセンター(ボラ公演)

公演依頼 募集中!!

公演依頼を募集しています!
興味がある方は是非ご連絡ください♪

1公演2万円~3万円(ご相談に応じます)
各地域のイベント、学校での文化祭・

福祉教育など目的に合わせたプログラムを組むことができます。
子どもから大人の方までみなさんとふれあい、
心に残る楽しい公演を目指しています。



※詳しくは「人形劇団 紙風船」HPまで

育ち合う子どもたちの絆

南 寿樹

運動会最後の種目は、タイヤリレー。バトンの代わりにタイヤを転がすこの競技で、紅白の総合優勝が決まるとあって、大いに盛り上がっていた。私は白組のテントで、小学部の子たちと一緒に、大きな声を挙げて応援していた。

白組の俊足、良太（中1）がタイヤを転がし、コーナーを曲がってテント前に近づいてくる。良太がタイヤを受け取ったとき、白組は、紅組に大きく引き離されていた。良太は迫ろうとする。だが、タイヤは焦れば焦るほど、バランスが崩れる。良太の顔が陰しくなる。（あっ、これはまずい）。私は、以前、良太がバドミントンで空振りしただけで、パニックを起こし、ラケットを折ってしまったことを思い出した。

その時だ。「フレイフレイ、良太」「フレフレ良太、フレフレ良太」「ガンバレー」白組の応援団長の裕介（小6）が大きな旗を振り、小学部の子が声を合わせる。怒ってタイヤを蹴ろうとしていた良太は、気持ちを切り替え、タイヤを立て直して猛スピードで駆け抜けていく。歓声が上がる。良太は陸上部に入っていて速い。—白組が勝った。

戻ってきた良太が、裕介に言う。「応援の声、よく聞こえたぞ。くじけそうになったけど応援の声でもちこたえられた。ありがとな」良太は、汗まみれの裕介の頭を押え、ごしごしとなでた。

私の勤める大府特別支援学校は、小学部から中、高等部まで合わせても70名ほどの小規模の学校。小中学部の子は、ほとんどが隣接する病院から通ってくる。良太と裕介は4人部屋で同室の仲。言わば寮生活を送る同士だ。ところが学校では、他学部との交流は禁止されている。トラブルを避けるためと言われている。各学部は各階に分かれ、行き来はしないというルールがある。しかし年に2度、文化祭と運動会だけは学部を超えて交流する。—この運動会で私は、普段見えていなかった子どもたちの絆を見た。

真紀子（中3）の件でもそうだった。真紀子は時間になっても教室に戻らない。授業中でも教室を勝手に抜け出す。それを咎める先生に「どっかいけ」「死ね」などと暴言を吐く。「このままでは、進学希望先の高校は無理だ。行き先がない」と中学部の先生たちは彼女に振り回され、ストレスで疲れ切っている。

その真紀子が、小学部の演技（旗を使っただけの集団演技）のときに、大きな声を出していた。「かっこいいよ。きれいにそろっているよ」「みんな、いいよ。がんばって」私は小学部所属。真紀子とは廊下ですれ違う程度で、彼女の実態をよくは知らない。（でもなぜ？）

運動会後、私は真紀子と同室のゆり（小4）と話をした。「小学部の演技の時、中学部の真紀ちゃんが大きな声で応援してくれてたね」「うん、うれしかった。真紀ちゃんは学校では悪い子ぶってるけど、病棟で私たちには優しいんだよ。この前の夕食に、オクラが出て、みんなが残したとき、真理ちゃんが『セーノで食べよう』と言うから、セーノで食べたの。おかげで私、オクラが食べられるようになったんだよ。まるでお姉ちゃんみたい」と言う。

今、競争主義の学校現場では、個別指導が強調され、子どもたちはバラバラにされている。だが、子どもたちは生活の場で結び合っている—そんなことを改めて知った運動会だった。

子どもたちの絆を、教育の場で生かすことが求められている、そんな思いを強めた。

【NPO愛実の会 寄付者名(順不同・敬称略) 2015年6月1日～10月31日】

★寄付金

伊藤 久子	臼田 治子	村上 貴久	岩崎 武男	山本 茂一	中野 武史
木村 淑江	志村 澄江	牧野 雅樹	齊藤 光男	橋本 直樹	坂口 良彬
坂田 昌子	佐藤 全弘	藤原 信子	真木 芳子	佐田 秀子	瀬口 昭代
稲田 喜水	奥山 喜正	堀尾 勇夫	大村 恵子	武井 陽一	西山 公子
伊藤 和昭	佐藤 雅美	宮崎 正和	梅村 亜恵	鶴崎 祥子	下村 徹嗣
川口 耕平	矢澤 綾子	石田 利彦	榛葉 英子	田中 綏子	小川 知也
宇野 伸一	比企 敦子	青本 和彦	佐野 都吾	阿部 健二	見木 靖美
清水 陸子	大淵 哲也	見木 靖美	中谷 塩子	伊藤 和子	赤星 実環
風間 文子	西川 道子	島 しづ子(複数回)		市原 信太郎・誉子	安藤 正・香代
渡辺 渉	桂 正枝	近藤 洋	杉本 誠	佐野 環	福島 真
島 一郎	渡辺 幸	柏木 實			鄭 成子
榊原 喜代子	尾島 夫規子	今枝 ミサ子	伊藤 あつ子	河合 みち子(複数回)	
矢口 由美子	早川 久美子	榎本 久美江	佐々木 伸夫	梅津 ヨシ子(複数回)	
荒竹 ひろみ	吉岡 満智子	古田 真喜子	加藤 真規子	川口 いづみ	
加藤 由美子	伊藤 てい子	黛 八郎・ナオミ	井上 誠・千代子	田中 美津次・民子	

イエローシート 日本キリスト教婦人矯風会 名古屋 京都みぎわキリスト教会
 みどりファミリー ファミリーマート道德通り二丁目店
 在日大韓基督教会名古屋教会 女性会

★紙風船夢づくり

宮原 祐子	佐藤 雅美	北島 敦子	鈴木 福枝	伊藤 純一	中森 由哉(複数回)
早川 吉彦	浜嶋 一史	齊藤 充加	酒井 淳子	永井 猛	竹山 徹
長谷川 耕司	荒竹 ひろみ	中野 由美子	石崎 亮史朗	居酒屋いろり	

★物品寄付 桐村 剛

【任意団体「障がい者・友だちの会・愛実」受付分(順不同・敬称略)】

片桐 美由紀	大木 志保子	大藪 礼子	佐野 美穂	佐野 都吾	
大串 彩規子	前沢 まき代	中森 由哉(複数回)	ご協力ありがとうございました。		

寄付のお願い

①駐車場のカーポート増設工事のため：300万円。

現在、デイセンターの前には1台分のカーポートがあり、雨天時には送迎車8台が順番にカーポートを利用して乗り降りを行っています。また駐車場もリフトを降ろすと車道出してしまうため、スペースの拡張を計画しています。

②移転改装費借入返済 2015年度返済予定額650万円

③人形劇団 紙風船の夢づくりのため：20万円

*振込用紙を同封しますので、ご利用ください。「紙風船夢づくり」あては、その旨の書き添えをよろしくお願いいたします。

【ボランティアで協力いただいた方】

本郷ギターマンドリンクラブの皆様(マンドリンコンサート)
高木 章一様(紙風船ボランティア)

ご協力をありがとうございます

【新人・パートアシスタント】

□太田 美穂

10月より大地の家で働かせていただくことになりました。分からないことばかりですが、みなさんが不安な気持ちにならないよう、笑顔でがんばりたいと思っています。

どうぞよろしくお願ひいたします。

ある日の給食



毎日 厨房で作っています

親子丼・野菜のごまあえ・味噌汁

唐揚げ・人参しりしり・ご飯・味噌汁

【所在地・連絡先】

特定非営利活動(NPO)法人 愛実の会

- 居宅介護事業所あみ(ホームヘルプ)
- 障がい者デイセンター愛実(生活介護)

〒455-0021 名古屋市港区木場町9番24

TEL: 052-693-5897 FAX: 052-691-7889

E-mail info@aminokai.com

ホームページ http://www.aminokai.com

【「NPO愛実の会」寄付金のお願い】

郵便振替 □座番号 00850-6-187490

□座名称 特定非営利活動法人 愛実の会

1□1,000円 何□でも結構です

- ◆ 寄付金(賛助会費・土地建物取得費用・その他NPO愛実の会の活動に関する費用)
- ◆ 紙風船夢づくり(人形制作費、公演活動に関する費用とする)